

北九州市立総合療育センター再整備基本計画（案） に対する市民意見募集の実施結果

1 意見募集期間

平成26年3月14日（金）から4月14日（月）まで

2 意見提出の状況

(1) 提出者数 20人（3団体を含む）

(2) 提出意見数 50件

(3) 提出方法

ア 持参	9人・27件
イ 郵便	2人・3件
ウ FAX	6人・13件
エ 電子メール	3人・7件

(4) 提出意見の内訳

分類名	件数
計画全般に関すること	8
機能に関すること	10
施設整備に関すること	16
職員体制に関すること	6
その他	10
合計	50

(5) 意見の内容

分類名	件数
1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	3
2 計画の今後の進め方に対する考えを述べた意見	33
3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	1
4 計画には直接関係しない意見	13
合計	50

(6) 計画への反映状況

分類名	件数
① 計画に掲載済み、または実施予定	9
② 計画の追加・修正あり	3
③ 計画の追加・修正なし ※今後の参考・検討とする。	25
④ その他	13
合計	50

北九州市立総合療育センター再整備基本計画（案）に対する 市民意見及び市の考え方（複数の同様な意見は1件に集約）

<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見 （他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）</p>	<p>【意見の反映状況】</p> <p>① 計画に掲載済み、または実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ※今後の参考・検討とする。 ④ その他</p>
---	--

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
計画全般に関すること				
1	基本計画に記載の北九州市総合的な療育のあり方検討会報告書（抜粋）にある、機能面、施設・設備面、職員体制の意見を反映してほしい。	今回の基本計画は、北九州市総合的な療育のあり方検討会報告書（抜粋）も踏まえ、機能面や施設・設備面等について取りまとめたものです。	2	①
2	設備や職員数を充実させるとともに、予約システムの改善等を図ることで、利用者が負担やストレスを感じることはない施設にしてほしい。	これまで以上に利用しやすい施設・体制づくりに取り組んでいきます。	2	①
3	私たちの提出した意見が反映された基本計画ができうれしい。	今後も利用者や関係団体等からのご意見を踏まえながら、再整備を進めていきます。	1	①
4	施設の老朽化や狭隘化が進み、利用者にとって使いづらい状況が続いていたが、新しいセンターは病床数の増床や、駐車場の確保、児童精神科や婦人科の新設など、機能等が充実されるので良いと思う。また、八幡西区に西部分所が出来るとのことで助かる方が多いと思う。			
5	施設の老朽化、障害児（者）の多様化・拡大化という時代のニーズに合ったものが完成することを期待している。	施設の老朽化に対応するため、センター本体の建替えを行うとともに、障害児（者）のニーズの多様化・拡大化に対応するため、病床の増床や診療科の増設等、機能強化を図ることとしています。	1	①
6	概念図では、地域支援室の対象は、総合療育センターの外来や通所等の利用者のみのようにも見えるが、これまで通り、それ以外の方も対象になるのか。	今までどおり対象となります。対象が分かるように、概念図の地域支援室の欄に追記します。	2	②
7	大人の発達障害について、外来、デイケアなどを専門スタッフにより行ってほしい。また、就労者を対象として、土曜日の外来対応も考えてほしい。	発達障害については、大人も対象として外来での診察を受け付けています。デイケア及び土曜日の外来対応については、診療体制の問題から直ちに対応することは困難な状況です。	2	③
8	概要版に「本基本計画（案）は、障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センターの再整備に向けて、」とあるが 大人も受診しているので表現を変えるべきではないか。	本文中は「障害児（者）」と記載しています。なお、概要版の表現については、「障害児（者）」に修正します。	4	④
機能に関すること				
9	感染防止の為、外来時に感染者（風邪等）と同じ待ち合い室にするのはやめてほしい。	感染症対策用の待合室及び診察室を設置する予定であるため、外来の諸室の中に追記します。	2	②
10	病棟の機能として、親子入所を行っていることが分かるようにしたほうがいいのか。	病棟の機能の中に、「親子入所」という文言を追記します。	3	②

北九州市立総合療育センター再整備基本計画（案）に対する 市民意見及び市の考え方（複数の同様な意見は1件に集約）

<p>【意見の内容】</p> <p>1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見 （他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）</p>	<p>【意見の反映状況】</p> <p>① 計画に掲載済み、または実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ※今後の参考・検討とする。 ④ その他</p>
---	--

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
11	切れ目のない療育訓練および自立訓練を円滑に進めるためにも関係機関が日常的に情報をやりとりできる窓口や情報交換の場の設定、本人情報を安全に受け渡せるシステムづくりが必要ではないでしょうか。	いただいたご意見は、今後、教育機関や福祉・相談機関等との連携を検討する際の参考とさせていただきます。	2	③
12	通所サービス利用者が、自宅で症状が悪化した場合、センターの医療関係者が自宅に来る等の対応を考えてほしい。	個々のケースの状況や必要性などを踏まえて、対応を検討していきます。	2	③
13	自家用車で送迎する際に、総合療育センターの職員にも乗降の手伝いをしてほしい。			
14	土日にも相談や総合療育センターを受診できるようにしてほしい。	土日の相談や外来については、スタッフや診療体制の問題から直ちに対応することは困難な状況です。	2	③
15	看護師の引継ぎの際の申し送りは、確実に行ってほしい。	今後も、引き続き、確実に申し送りを行うよう努めていきます。	2	③
16	障害児に対する療育の中でも、摂食機能（食べる機能）や言語機能など、口腔機能に関連する領域はQOLを高める上でも極めて重要であると考えため、高度専門医療機関との連携をとり、効果的な連携の上で運営を行ってほしい。	障害児（者）に対する医療向上のため、高度専門医療機関などと連携を図りながら運営を行っていきます。	2	③
17	手術の年間件数を教えてほしい。	平成25年度実績では、整形外科81件、眼科11件、歯科63件です。	4	④
18	手術場の看護師は、患者が興奮状態で暴れた場合どう対応しているのか、またその対処法を教えているのか。	あまりないケースではありますが、看護師だけではなく、センター内の他の職員にも応援を依頼し、患者の安全を守れるような対応を行っています。	4	④
施設整備に関すること				
19	駐車場に止められず困っている利用者が見受けられる。また、車椅子を利用する場合など天候も気にせず広いスペースが確保できれば、障害児（者）をスムーズに施設内に入れることも出来ると思う。	センター本体の駐車場は、現状の不足状況を考慮し、約140台（現在：約110台）確保する予定です。また、車椅子やバギーの乗降等にできるかぎり配慮するとともに、立体駐車場を整備し、雨天時の利便性の向上を図ります。	2	①
20	駐車場はセンター本体・西部分所ともに、トランクからバギーを乗降する為、前向き駐車がしやすい様にしてほしい。（1台のスペースも広めだと助かる）	センター本体については、車椅子やバギーの乗降等にできるかぎり配慮した駐車場を整備する予定です。また、西部分所については、既存施設の改修のため、確保すべき駐車台数等を考慮しながら、可能な限り配慮します。	2	①

**北九州市立総合療育センター再整備基本計画（案）に対する
市民意見及び市の考え方（複数の同様な意見は1件に集約）**

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見
(他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等)

【意見の反映状況】

- ① 計画に掲載済み、または実施予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
※今後の参考・検討とする。
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
21	おむつ替え場所がトイレと別にあると助かる。重心児・者が別にあるといい。	ご意見を踏まえながら、今後、設計を行う中で検討していきます。	2	③
22	待ち時間を過ごしたり、家族・友人等と交流するための、コーヒーやジュース等が飲めるカフェスペースを整備してほしい。			
23	男女別の居室・病室にしてほしい。			
24	入所、入院、短期入所の部屋を別々にしてほしい。			
25	「サイン・デザイン・色調を工夫」とあり楽しみである。障害に関わる人々（障害者本人や家族、センタースタッフの方々等）が、明るく快適に過ごせるように工夫してもらいたい。			
26	各ベッド毎に水道設備を設置してほしい。	必要性、実現可能性を勘案しながら、今後、設計を行う中で検討していきます。	2	③
27	ATMや売店、食堂等を設置してほしい。			
28	成人期の高機能自閉症・アスペルガー症候群の子（主に20歳・30歳代）を持つ親達で勉強会などの交流をもっている。再整備の際は、親や当事者が集える場所を設けて、勉強会を行うなどの体制づくりをしてほしい。カフェなどもあればいいと思う。	通園やデイサービスなどセンター利用者については、必要に応じて会議室を利用することができます。また、発達障害児（者）等の保護者の方などが集える場所については、今後の発達障害児（者）支援の方向性を議論する中で検討していきます。	2	③
29	発達障害や書字障害などの親が集まる場所がほしい。			
30	エントランスに直接つながっている乗降場所において、送迎バスと利用者の車が交錯して危険な場合があるため、乗降場所を分離するか、又は、送迎時間を明確に表示するなどの対応をしてほしい。	今後、設計を行う中で検討していくとともに、送迎時間の表示については、現施設のなかでも検討していきます。	2	③
職員体制に関すること				
31	障害児（者）の療育の中核施設として、専門スタッフの育成・確保に力を入れてほしい。	今後も、障害児（者）の療育の中核施設として対応できるよう、専門スタッフの育成・確保に力を入れていきます。	2	①
32	リハビリの心理療法については、本当に予約が難しく、相談したい時にできないことが不安なので、もう少し心理の先生を増やしてほしい。	利用者の皆様の不安を出来るだけ解消できるように、スタッフの体制について検討していきます。	2	③
33	各部屋を見回り入所者の様子を観察する様な人員を増やしてほしい。			
34	夜間、深夜帯は現在看護師が3名体制で、非常に不安であるため、人員を増やしてほしい。			

北九州市立総合療育センター再整備基本計画（案）に対する 市民意見及び市の考え方（複数の同様な意見は1件に集約）

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 計画の今後の進め方に対する考えを述べた意見 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 計画には直接関係しない意見 (他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等) 	<p>【意見の反映状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 計画に掲載済み、または実施予定 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ※今後の参考・検討とする。 ④ その他
---	--

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
その他				
35	現在のホームページは案内だけで、情報が得られにくいいため、ホームページの内容拡充を図ってほしい。	ホームページの内容拡充については、今後検討していきます。	4	④
36	「つばさ」について、スタッフが頑張っているが、近年の発達障害者の増加になかなか対応できてないのが現状かと思う。人数や内容面でより専門性を高め、充実したものにしてほしい。	「つばさ」の体制整備については、今後の発達障害児（者）支援の方向性を議論する中で検討していきます。 また、今後も各支援機関と連携しながら、効果的で専門性の高い支援を進めていきます。	4	④
37	「つばさ」の人材を増やし、きめ細かい対応をしてほしい。また、グループホームや作業所につながっていくような連携をとってほしい。			
38	市の障害者雇用はどのようになっているのか。例えば、図書館の本の整理等の仕事は、アスペルガーの人達には向いている仕事だと思うので、積極的に市でも検討してほしい。	本市の障害者雇用については、身体障害者を対象に、平成9年度から、通常の採用試験とは別枠での選考採用を行っており、平成25年6月現在2.3%の雇用率となっています。 また、知的障害者については、次の本格的な雇用に繋げるためのチャレンジ雇用制度（非常勤嘱託員として雇用）を設け、毎年、若干名を採用しています。 精神障害者の雇用についても、平成30年度の雇用義務化に向け、現在、庁内で研究を進めているところです。 引き続き障害者の雇用を推進していきます。	4	④
39	総合療育センターは、JRやモノレールなどの公共交通機関から若干離れた場所にあるため、交通アクセスの整備をしてほしい。	今後の公共交通については、総合療育センター周辺地域の整備状況を見ながら、交通事業者を含めた関係者と協議を行いたいと考えています。	4	④
40	公共交通機関を利用する場合、最寄りのバス停やモノレールの駅から総合療育センターまでの道順が分かりにくい。	再整備に向けて、サインの充実を図る等検討していきます。	4	④
41	親が死んだ後も、子どもが総合療育センターを受診できたり、支援を受けられることが出来るようにしてほしい。	保護者の方が亡くなられた後も、他の相談機関とも連携を図りながら、引き続き必要な医療や支援を受けられるよう対応していきます。	4	④
42	おもちゃライブラリーに絵本等の図書を読めるスペースを作ってほしい。（一般の図書館は静かに本を読む環境であるため、障害者は一緒には利用しづらいと感じているため。）	おもちゃライブラリーで絵本を読む事は現在も可能です。読書用のスペースの確保については今後検討していきます。	4	④
43	特別支援学校のスクールバスについて、雨天時の乗降場を設けたほうがいいのか。	雨天時のスクールバスからの乗降については、特別支援学校の整備の中で、現状同様に配慮、検討していきます。	4	④

市民意見に基づく「北九州市立総合療育センター再整備基本計画(案)」 の修正について

修正①

■計画(案)に対する市民意見

№. 6

概念図では、地域支援室の対象は、総合療育センターの外来や通所等の利用者のみのもようにも見えるが、これまで通り、それ以外の方も対象になるのか。

■第2章 全体計画 ⇒ 2 機能 ⇒【新総合療育センター及び西部分所 整備概念図】

下記のとおり文言を追加 (P 2 2)

修正前	修正後
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;">地域支援室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問・療育相談 ・ 在宅生活、 社会参加支援 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;">地域支援室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問・療育相談 ・ 在宅生活、 社会参加支援 <p style="text-align: center;">※外来や通所等の利用 の有無にかかわらず 利用可能</p> </div>

修正②

■計画(案)に対する市民意見

№. 9

感染防止の為、外来時に感染者(風邪等)と同じ待合室はやめてほしい。

■第3章 部門別計画 ⇒ 1 外来部門 ⇒ (2) 諸室及び配置等

下記のとおり文言を追加 (P 2 4)

修正前	修正後
<p>1) 主要な諸室</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 汎用診察室 1 4 室、歯科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・婦人科用の専用診察室、処置室、観察室(休養室)、(略)等 	<p>1) 主要な諸室</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 汎用診察室 1 4 室、歯科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・婦人科用の専用診察室、処置室、観察室(休養室)、<u>隔離診察室</u>・専用待合室、(略)等

修正③

■計画（案）に対する市民意見

No. 10

病棟の機能として、親子入所を行っていることが分かるようにしたほうがいいのではないか。

■第3章 部門別計画 ⇒ 5 病棟部門 ⇒ (2) 機能

下記のとおり文言を追加（P 31）

修正前	修正後
障害（児）医療とリハビリテーションのための病棟（第1病棟）	障害（児）医療とリハビリテーション、 <u>親子入所</u> のための病棟（第1病棟）